

「セーフスペース」

目的：仲間と安心して話し合いやアクションをできる環境にするためのルールを作る

準備物：模造紙もしくはワークシート（ホワイトボードに書いた場合、あとで残せるものに清書）

ワークの進め方：

1. ムードを設定する

これから行うアクションの雰囲気に合わせて、明るく始めたり真面目に始めたりする。

2. お互いに期待する事を言い合う・確認する

これらの活動への期待を伝え合うことで、それぞれの立場を明確にする事が出来る。異なる価値観を持っている人がいたり、強い想いで参加している人も、友達に誘われて参加している人もいるかもしれない。それぞれの想いや考え方を否定せず、どのようなことをこの場に期待しているのかを理解して、一緒にアクションを起こし、成功させるイメージを持つ。

3. セーフ・スペースを作る

大事な事は「しっかりと明確にした単語を使うこと」と「全員が賛成すること」

2で出た“それぞれの期待”を実現するために必要だと思うルール（行動）をあげる。

例1：みんなで同じ目線でワイワイ活動したい

⇒ここにいる年齢は様々だけど、あだ名で呼び合いタメ語で話す

例2：活動には参加したいけど、部活や塾など他のこととも両立させたい

⇒みんなで決めたスケジュールは守る。でも、どうしても参加できない時は、前もってできないことを連絡したり、今出来ることをやって早めに共有して他の人をお願いする。

上記のようにルールの案が出てきても、すぐにルールとして認定するのではなく、それに対して違和感を持つ人が居たら、話し合っ理解し合い、お互いに納得できるルールにする。（例：「先輩に対してタメ語を使わなきゃいけないと言われると、逆に緊張するし意識しちゃって嫌だ。」）

ルールを作っていく中で、内容に偏りがあるなど、以下の要素が出てこない場合、事例を出したりしながら、引き出していく。“期待すること”からだけでなく、“こうだと活動しにくい⇒どうしたら活動しやすくなる？”を考えると、より深い要素を話し合える。（例：「みんなで積極的に取り組みたいけれど、どうしても時間が作れない場合など、どうしたらいいかな？」「安心して自由にアイデアを出したりするためには、どんな雰囲気をみんなで作ればいいのか？」）

—セーフスペースの4要素—

Welcome（歓迎する）：他人の意見を尊重し、否定せず、受け入れる

Challenge（挑戦する）：それぞれが積極的に参加することで、相互に高め合う

Choice（選択できる）：お互いに無理強いはいしない。やりたくないことをやる必要はない

Confidential（秘密は守る）：ここで話すプライベートなことを他の人に言わない

4. 提示する

みんなで決めたセーフ・スペースの文言を目に入る場所に貼りだし、問題があった場合はいつでも確認できるようにする。（対面での活動が中心の場合は壁に紙を貼っておく、オンラインが中心の場合は、LINEグループのアナウンスで固定したり、共有データの見やすいところに置いておく）